

コミュニティバス 中学生無料化を



町長 小学生や高齢者などの
すみ分けが難しい

質問 バス利用者の地域偏在、財政負担は地域公共交通会議で議論されている。中学生と小学生、高校生、妊婦、高齢者などと、地域公共交通会議での議論を踏まえ、引き続きこのみ分けるのが難しい。これまでコース見直しや配車時間帯などを改善してきたが、収支率は速報値で約7%であり、多額の公共負担が発生している。地域公共交通会議での議論を踏まえ、引き続き運行改善や利用促進に取り組みとともに、新たな移動手段についても研究していく。



雨の中運行するコミュニティバス

議会モニター委嘱式 ～新年度スタート～

瑞穂町議会では、議会改革や活性化を推進し開かれた議会を目指すため、令和5年度より議会モニター制度を実施しています。

4月25日、議会モニターに応募いただいた皆さまに、議長より委嘱状を交付しました。

議会モニターの方々には、定例会や委員会を可能な範囲で傍聴していただき、アンケートへの回答などを通じてご意見をいただきます。



議会モニター委嘱式（役場4階）

令和6年第1回（3月）定例会議会モニターアンケート

「議会だより」に厳しいご指摘や建設的なご意見を受けて

令和6年第1回（3月）定例会終了後に議会モニターからアンケートの提出がありました。本会議に於いてや議会の在り方などについても厳しいご指摘や建設的なご意見を頂戴しましたが、今号では議会だより第240号に関する主な意見を掲載します。

一般質問は文字が多すぎる。質問内容と答弁を簡潔に。

リアルな議会の情報を伝えてほしい。

議会を実際に傍聴したニュアンスと議会だよりの内容が違う。

町民に関心を持ってもらえるような、簡潔で分かりやすい紙面を。

WEB化しないと若者にリーチしないのでは。

過去の一般質問で進展したことを報告すべきではないか。

議会だよりを編集している広報部会では、いただいた厳しいご指摘や建設的なご意見を受け、改善に向けて動き出しています。

井上 一也 議員（もつと瑞穂に笑顔）

瑞穂町の子どもたちに、コミュニケーションで使える英語力を



教育長 横田基地内の学校とは
国の事業を活用し交流している

どもたちにとっては「難解」なものとして受け入れられる。横田基地も存在するが町民の子どもたちに、コミュニケーションスキルを高めるために「ことば」として、「英語」を感じられる機会をつくることはどうか、町の所見を伺う。

教育長 横田基地内との交流は、国の事業を活用し、小学校では学級単位の交流、中学校では中学生4名が2日間の交流行事に参加している。6年度、「日米クラブ活動交流」として、スポーツ交流を実施した。また、姉妹都市のモリガンヒル市との中学校の相互交流も再開に向け、調整中である。



バスケットボールを通じた中学生の日米交流事業（瑞穂中学校）※外務省より提供

町長 経費も割高となるため、現在のところ作製する予定はない。

こんな質問もありました
125cc以下のバイクにも「みずほまる」のナンバープレートを

れからも機会を捉えて、英語を介してのコミュニケーション能力を高められるよう、教育活動を行っていく。